

Q 家を新築する際、建て主は、確認申請を役場に提出しに来るはずなので、雪を自宅の敷地内で処理するような助言をしてほしい。そのため設備や方法を指導してほしい。

A 建築確認申請等は、建築事務所が代行して来るので、行政側の意図が伝わるかどうかかわからないが、業者への説明に加えていく。間口の除雪については、27年度の降雪シーズン前に、全庁的に関係部署と協議し、できる部分でできない部分を検討したいと考えている。

Q 若い世代、低所得者向けに、道営住宅の建設を道に要請してもらいたい。

A まず、町の公住が不足しているのが前提と考えるが厳しいのが現実。道も新規の道営住宅建設はなかなかない状況にある。

Q 公住には、キッチン、ユニットバス、シャワーなどある程度の設備が整っていないければ人は入居したがる。公営住宅長寿命化計画の中でどのように考えるか。

A 計画は25年度から34年度までで、内部改修は含め

ていないが、見直し時期にはその部分も検討できるかと思う。

▼消防費

Q 消防支署に女性職員は何名いるか。

A 女性職員はいない。

Q 防災の集いやAEDの使用研修などで、女性の役目が有効である。女性を採用しては。

A 採用は、広域消防事務組合で行つので、町では回答できない。

Q 3年ごとの防災訓練が今年行われるが、足腰の不自由な人も参加できるものではないか。

A 新年度に具体的な計画を立てるので、考慮していきたい。

Q 防災センターの機能について。

A 設置目的は、現地災害対策本部の位置づけ。平常時は備蓄物資、消波ブロック、土のつなどを保管し、ヘリポートも設置している。

▼災害復旧費

Q 浦臼町が樺戸界川から取水するため帯工（川床の勾配を一定に保ち、侵食を防ぐ小さなダムのようなもの）をかさ上げして設置していた。徳富ダムの供用開始で不要になるはずだが、撤去したのか。

A 27年度中に撤去することになっている。

▼教育費

Q 昨年、小中学校の体育館照明をLED化した。町内の防犯灯も初期投資はかかって、その後の電気料は半額。学校全体のLED化を。

A 検討はしたが、蛍光灯からの改修はすぐにはできない。インターネット上では安価な製品もあるが、信頼性のあるものとしては次期尚早と考える。

Q 就学援助で、修学旅行費の事前交付はできないのか。概算の何割かを先に給付するなど、工夫できるのでは。

A 工夫できる余地があるか検討したい。

Q 学校支援地域本部事業の詳細について。

A 平成23年度から国、道の補助事業として、家庭と地域社会全体で学校支援をするもので、本町では青少年健全育成町民会議として、登下校の見守りや、つどいを開催している。

Q 良質な絵本をどう選定するか検討を。

A 司書が研鑽できるよう研修も計画しており、司書とも協議して工夫していきたい。

Q 絵本の配布は、対象者全員にしているか。

A 基本的に乳幼児健診当日に配布している。未参加の方には、後日配布している。

Q 給食費を値上げした後、減免を行うのはなぜか。

A 値上げは、材料費をまかなうために適正な額を設定した。子育て支援として、保護者の負担軽減のため小中学生の給食費を減免する。

Q 1日1170食の給食のうち、雨竜町の分はどのく

らいか。

A 雨竜町は、小中学生、職員合わせて200食である。

〔国民健康保険特別会計〕

Q 基金等から繰入れをしながら収支を合わせているが、保険税の値上げをせずに運営していけるのか。

A 26年の所得が確定してから27年度の保険税を決めるための審議会を開催する。現状では、保険税の値上げについては言及できない。また、現在の社会情勢や経済情勢を勘案すると、基金からの繰入れや一般財源の投入も十分ありえる状況である。

Q 国民健康保険制度は、当初の見込みに戻し高齢者や低所得者層が増え運営が困難な状況が続いていることから、保険者を各自治体から都道府県へ移管することになった。これに伴い、本町の町民が納める保険税が高くなる可能性はあるか。

A 全道的に一律の保険税にはならない。各自治体の状況で賦課される。